

地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会の開催について

〔令和6年11月21日〕
デジタル庁国民向けサービスグループ長決裁

1. 趣旨

共助の取組による地域の豊かさと心豊かな暮らしの共通の指標となる地域幸福度（Well-Being）指標の活用、高度化について検討するため、デジタル庁国民向けサービスグループ長の下に、地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会（以下「検討会」という。）を開催する。

2. 主な検討事項

- ・ 地域における地域幸福度（Well-Being）指標の活用の促進に関すること
- ・ 地域における活用実績等を踏まえた地域幸福度（Well-Being）指標の改善に関すること

3. 構成

- （1）会議の構成員及びオブザーバーは別紙のとおりとする。
- （2）会議には、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

4. 庶務

会議の庶務は、デジタル庁国民向けサービスグループにおいて処理する。

5. 運営

- （1）会議において配布された資料は、原則として、公表する。
- （2）会議の議事要旨を公表する。ただし、座長が特に必要と認めるときは、議事要旨の全部又は一部を公表しないものとするすることができる。

「地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会」
構成員等

（敬称略）

【構成員】

（座長）前野 隆司	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 兼 武蔵野大学 ウェルビーイング学部 学部長・教授
石川 善樹	公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事
井上 亮太郎	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任講師、パーソル総合研究所シンクタンク本部 上席主任研究員
内田 由紀子	京都大学人と社会の未来研究院 院長・教授
太田 直樹	株式会社 New Stories 代表取締役、一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事
小泉 秀樹	東京大学まちづくり研究室 教授
古賀 千絵	東京大学先端科学技術研究センター 特任助教
笹尾 知世	麗澤大学工学部 准教授、東京大学大学院 新領域創成科学研究科 ハビタット・イノベーション研究社会連携講座 客員連携研究員
白坂 成功	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長／教授
鈴木 寛	東京大学公共政策大学院 教授
関 治之	一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事
南雲 岳彦	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 代表理事
広井 良典	京都大学人と社会の未来研究院 教授

【オブザーバー】

内閣官房	新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
内閣府	政策統括官（経済社会システム担当）
内閣府	民間資金等活用事業推進室
内閣府	科学技術・イノベーション推進事務局
文部科学省	大臣官房政策課
厚生労働省	政策統括官（総合政策担当）
農林水産省	大臣官房環境バイオマス政策課
農林水産省	農村振興局農村政策部農村計画課
国土交通省	都市局まちづくり推進課
環境省	大臣官房総合政策課